

【出題意図】

目の見えない人と美術鑑賞という、一見意外な組み合わせを通じて、障害を持つ人の生の声を紹介し、身近なものとして捉え、望ましい社会のあり方について考えてもらうことを狙いとする。

【採点基準】

思考力、判断力、表現力を中心として総合的に評価します。

以下の点を採点のポイントとします。

- ・ 本文の内容を読み取り、理解できているか。
- ・ 適切な論拠に基づいて自分の論を展開できているか。
- ・ 理路のとった文章になっているか。
- ・ 文字数は要求範囲内か。
- ・ 誤字脱字はないか。
- ・ 具体例が適切に挙げられている場合は加点対象とする。

【各問の採点のポイント】

問1

本文の内容を適切に読み取っているか。

字数制限が35字であるため、本文から以下の文を抜き出し、文末を整えて解答する。

「～誰かにアテンドしてもらい、作品の印象などを言葉で教えてほしい～」

問2

本文の内容を読み取り、理解できているか。

「それまで『見えるひと』に対して感じていた引け目や『見える』と『見えない』の間の壁が取り払われていった」理由について、次の段落にある「きっかけとなったふたつのできごと」に触れて解答する。本文の主な文章は次のとおり。

- ① いつも「ありがとう」と言う側だった白鳥さんが、「ありがとう」を言われる側に逆転した
- ② それまで“見えるひと”はなんでもすべてがちゃんと見えているって思っていたんだけど、“見えるひと”も実はそんなにちゃんと見えてはいないんだ！ と気がついて。そうしたら、色々なことがとても気楽になった

問3

本文の内容を読み取り、理解し、適切な論拠に基づいて自分の論を展開できているか。

解答者の「考え（意見）」を聞いているので、単なる「感想」は減点する。個人の経験や知識からの例示は必須ではないが、適切な例示がされている場合は加点する。「本文を踏まえて」としているので、問2の内容などを踏まえて解答できているとよい。

【 解 答 例 】

問 1

誰かにアテンドしてもらい、作品の印象などを言葉で教えてもらう。

(25 字 × 2 行 , 31 字)

問 2

美術鑑賞をすることで、いつも助けてもらう立場だった自分が相手に感謝される経験をし、さらに「見えるひと」もすべてがきちんと見えているわけではないと気づき、色々なことが気楽に感じられるようになったから。

(25 字 × 4 行 , 99 字)

問 3

課題文の盲人白鳥さんは、美術鑑賞を通じて「見えるひと」への引け目や壁が取り払われていったと言っている。これは、お互いを知らない間は気づかなかったことが、両者が関係することで新しい気づきに繋がったのだと思う。私は、障害者と健常者のような異なる立場の人々が共に生活する際には、世間で言われているような「あるべき姿」の先入観を持たず、お互いに対等な立場で接するということが重要だと思う。

私はまだ、身近な知り合いで障害を持つ人と出会っていない。もし私の通っている高校に、盲人の同級生がいたとして考えてみる。私はその人に対して、初めは警戒心や哀れみを持つかもしれない。しかしそれは、私がその人のことを知らないからだと思う。何かのきっかけで、その人の考えを知ることができたら、課題文の美術館のアテンダントのように、盲人の同級生に対して感謝するかもしれない。もっと仲良くなりたいと思うかもしれない。「知る」ということはお互いの理解を深めるうえで必要なことだ。

世の中には、障害者に限らず色々な立場の人がいるはずだ。私が弱者の側になることもあるだろう。あらゆる人々が、お互い引け目や壁を作らずに、生活できることが重要だ。そのためにはお互いが知り合う機会を増やし、先入観を持たずに関係できることが大切だと思う。

(25 字 × 23 行 , 573 字)

令和7年度 一般選抜 生活科学科 食物栄養学専攻
出題意図・採点基準

【出題意図】

食に関する課題に対して、知識や思考力、判断力を駆使して根拠に基づく解決策を文章で表現することができるか総合的に判断する。

【採点基準】

問1 作者は開国直後に海を渡った2人の日本人のどこに心魅かれ、好感を覚えたか100字以内にまとめなさい。

解答例

①洋食に接した時、激しい嫌悪感や忌避感を覚え、その思いを率直に書き記したという点や②西洋料理に正面から向き合い、悩み、苦しんだ、その不器用で一徹な姿〔に心魅かれ、好感を覚えた。〕

【採点基準】

- ・ ①、②が書かれていること。どちらか1つなら配点の1/2にする
- ・ 誤字脱字が多い場合は、数に応じて減点する

問2 問1を踏まえ、日本人が「味のコスモポリタン」と評されることについてあなたの考えを500字以上600字以内で述べなさい。

【採点基準】

- ① 問1に触れていること：
洋食に接した時、激しい嫌悪感や忌避感を覚えたり、西洋料理に正面から向き合い、悩み、苦しんだりしたこと
- ② 「味のコスモポリタン」について書かれていること
- ③ 自分の考えが具体的に書かれている
- ④ 誤字脱字が無い、または少ない
 - ・ ここまでクリアできていれば80%以上とする
 - ・ その他、知識、思考力、判断力、表現力に優れていれば加点する
- ⑤ 問に関係ないことが書かれていたら、減点する
- ⑥ 誤字脱字が多い場合は、数に応じて減点してよい

令和 7 年度 一般選抜 食物栄養学専攻 解答例

【解答例】

問 1

洋食に接した時，激しい嫌悪感や忌避感を覚え，その思いを率直に書き記したという点や西洋料理に正面から向き合い，悩み，苦しんだ，その不器用で一徹な姿
[に心魅かれ，好感を覚えた。]

問 2

問 2 の解答例は公開しない。